

株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

ここに当社グループ第82期の中間期（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）の決算をご報告するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当中間期における当社グループを取り巻く市場環境につきましては、期初から期中にかけては、世界的に景気の回復傾向が見られましたものの、期末において欧米諸国などで、減速傾向が見られました。

このようななかで当社グループは、本年4月28日に発表いたしました中期経営計画（START10）に全社一丸となって取り組み、電子事業の収益改善を進める一方で、収益の柱となるアルカリ乾電池、ニッケル水素電池、リチウム電池といった電池事業へ注力してまいりました。

当中間期の経営成績につきましては、本年1月に譲り受けたニッケル水素電池ビジネスとリチウム電池ビジネスの寄与および電子事業の回復などにより、売上高は前年同期と比べ大幅に増加いたしました。損益面では、売上高の拡大に加え、前期から取り組んでいる徹底的なムダの排除によるコスト削減の実施により、営業利益、経常利益ともに前年同期に比べ大幅増となり、中間純利益も黒字化いたしました。

中間配当につきましては、未だ事業の再建半ばで欠損金を抱えていることもあり、誠に遺憾に存じますが、見送らせていただきたいと存じます。株主の皆様には誠に申し訳なく、衷心よりお詫び申し上げます。

今後につきましては、欧米経済の減速や円高の進行の影響、海外メーカーとの激化する価格競争などによる厳しい事業環境が予想されます。このようななか、当社グループは、引き続き中期経営計画を推進し、お客様目線に立った営業活動をこれまで以上に徹底することにより、お客様との信頼関係の構築に努めてまいります。また、たな卸資産の圧縮とこれまで取り組んでまいりました徹底的なコスト削減の継続・推進により、厳しい事業環境でも収益をあげられる強い事業体質の構築を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ倍旧のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年12月



代表取締役社長 **小野 統造**